

Drug Information News (平成 25 年 2 月)

八尾市立病院 医薬品情報管理室

1. 八尾市立病院の医薬品採用状況
2. 医薬品・医療機器安全性情報(No.298 平成 25 年 1 月)の概要
【詳細は医薬品医療機器情報提供 HP (<http://www.info.pmda.go.jp/>)から参照可能です】
3. 保険適用される公知申請品目に関する情報
4. 製薬企業からの医薬品の適正使用に関するお知らせ

1. 八尾市立病院の医薬品採用状況(平成 25 年 2 月薬事委員会承認分)

(1) 採用医薬品: 院内・院外ともに処方可能な医薬品です。

- アリナミンF100 注
- キロサイドN注 1g
- メソトレキセート点滴静注液 1000mg
- リコモジュリン点滴静注用 12800(特定患者用から採用へ)

(2) 特定患者用医薬品: 処方時、事前に薬剤部への連絡が必要な医薬品です。

- オラペナム小児用細粒 10%

(3) 院外処方専用医薬品: 院外処方せんでのみ処方可能な医薬品です。

- アイピーデイドライシロップ 5%
- テオールドライシロップ 20%(院外かつ特定患者用)
- ロトリガ粒状カプセル 2g
- ヒューマログミックス 50 注カート(院外かつ特定患者用)

(4) その他

- ウロナーゼ静注用 6 万単位
「ウロキナーゼ静注用 6 万単位」の販売中止に伴い、入れ替え(同一成分、同一薬価)
- シナジス筋注液 50mg・100mg
凍結乾燥製剤「シナジス筋注用 50mg・100mg」から液剤へ、切り替え(同一成分、同一薬価)
- 【低血糖用】ブドウ糖(固形タイプ)
粉末タイプより、切り替えます。

2. 医薬品・医療機器安全性情報(No.298 平成 25 年 1 月)の概要

(1) 医療事故防止等のための「医療用医薬品へのバーコード表示の実施要項」の一部改正について

「医療用医薬品へのバーコード表示の実施要項」の一部改正についてを通知したので、医療用医薬品へのバーコード表示の作成に至った経緯、概要、実施時期等を紹介するとともに、バーコードの医療安全への活用をお願いされています。

(2) 重要な副作用等に関する情報: 商品名は当院採用薬で掲載しております。

1. テモゾロミド: テモダールカプセル 20mg・100mg
2. テラプレビル: テラビック錠 250mg
3. プラミペキソール塩酸塩水和物: ビ・シフロール錠 0.5mg
4. モガムリズマブ(遺伝子組換え)

(3) 使用上の注意の改訂について(その 242):商品名は当院採用薬で掲載しております。

1. 〈強心剤〉
ジゴキシン:ジゴキシン錠 0.25mg「AFP」、ジゴシン散 0.1%、ハーフジゴキシンKY錠 0.125、ジゴシン注 0.25mg
デスラノシド:ジギラノゲン注 0.4mg
メチルジゴキシン:ラニラピッド錠 0.1mg
2. 〈その他の循環器官用薬〉アンプリセンタン
3. 〈止血剤〉ゼラチン(スポンジ2cm×6cm×0.7cm・8cm×12.5cm×1cm):ゼルフフォーム
4. 〈止血剤〉ゼラチン(スポンジ5cm×2.5cm・10cm×7cm):スポンゼル
5. 〈その他の腫瘍用薬〉パゾパニブ塩酸塩:ヴォトリエント錠 200mg
6. 〈他に分類されない治療を主目的としない医薬品〉ゼラチン(フィルム):ゼルフフィルム

(4) 市販直後調査の対象品目一覧(省略)

3. 保険適用される公知申請品目に関する情報

- 薬事承認上は適応外であっても保険適用の対象となる医薬品

■リツキサン注 10mg/mL(リツキシマブ(遺伝子組換え))

■ハーセプチン注射用 60、ハーセプチン注射用 150(トラスツマブ(遺伝子組換え))

■ハイカムチン注射用 1.1mg(ノギテカン塩酸塩)

■プレドニン錠 5mg(プレドニゾン)

これらの医薬品を使用する際には、保険適応後、承認されるまでの間は、公知申請への妥当性に係る報告書の内容をよく読み、適正に使用してください。

4. 製薬企業からの医薬品の適正使用に関するお知らせ

- テラビック錠 250mg 投与例における重篤な感染症への注意喚起について

■敗血症を含む重篤な感染症が報告されております。

テラビックを含む3剤併用療法では、易感染性となり、感染症及び感染症の増悪を誘発し敗血症に至ることがありますので、感染症の発現には下記事項のとおり十分ご注意ください。

- 3剤併用療法中には、臨床症状(発熱等)及び定期的な白血球分画測定、CRP値測定など十分な観察を行い、感染症の早期発見に留意していただき、異常が認められた場合には投与中止、抗菌薬投与など、適切な処置を行ってください。
- 敗血症等の特に重篤な感染症発現例には、高齢者や、経口ステロイド投与が行われている例もありました。